

美術科 第1学年 シラバス

学期	月	題材名	題材のねらいと学習の内容	時間	観点別学習状況の評価規準 ・主＝主体的に学ぶ態度 ・知＝知識・技能 ・思＝思考・判断・表現			評価方法				
								テスト	シワーク	作品	提出物	観察
1	4	オリエンテーション	一年の見通しをもつ。	5	主	心豊かに生きることと美術のかかわりについて関心をもつ。		○			○	
		美術って何だろう	美術の持つ意義について考え、自分の見方、考え方を育てる。		知	色や形、構図を観察し創造力を働かせる。	○	○	○	○		
		見て描く楽しみ	表現するために必要な基礎的な力を身につける。		思	主題にふさわしい表現や表現意図に合った方法を工夫する。	○	○	○	○		
		☆ 言語活動	自分の見方や感じ方を大切にしながら友達と話し合い、お互いの感じ方の違いに気づくなどして交流する。					○				
	6	絵文字がしゃべりだす	漢字の持つ意味を視覚的にデザインする中で情報を伝えるデザインの働きを学ぶ。 意外な発想やユーモアを生かして作る。色の性質について基礎的な知識を学習し、配色などの応用力をつける。	9	主	視覚伝達デザインに関心をもつ。		○			○	
					知	感性や想像力を働かせて、創造的な表現の構想をする。	○	○	○	○		
	7			思	主題を理解し、効果的な方法を工夫してみる。	○	○	○	○			
	☆ 言語活動	作品のよさや美しさを発表し交流する。見方や感じ方を広げて鑑賞する。					○			○		
2	9	形を丸ごと感じてみよう	対象を見つめ感じ取った形や色をもとに作品をつくる。 形や色の特徴などをもとに、対象のイメージをとらえる。	9	主	対象をよく観察し、その美しさや特徴に関心を持つ。		○			○	
					知	さまざまな角度から観察し、創意工夫して形や色をつくる。	○	○	○	○		
	10			思	表現方法や構想、技法を研究し、創造的に表す。	○	○	○	○			
		☆ 言語活動	作品のよさや美しさを発表し交流する。見方や感じ方を広げて鑑賞する。					○			○	
11	さまざまな技法で描く	技法の特徴を良く理解し、それを生かして表現する。 表現することの楽しさや喜びを味わい工夫する。	7	主	表現技法に関心を持ち、意欲的に取り組む。		○			○		
				知	さまざまな角度から発想し、創意工夫して形や色をつくる。	○	○	○	○			
				思	表現方法の構想、技法を研究し、創造的に表す。	○	○	○	○			
12				☆ 言語活動	作品のよさや美しさを発表し交流する。見方や感じ方を広げて鑑賞する。		○			○		
3	1	気持ちを伝えるデザイン	気持ちを伝えるデザインについて考え、受け取る相手の気持ちを考えて構想を練る。 素材の特徴を生かし工夫して表現する。	9	主	気持ちを伝えるデザインに関心を持つ。		○			○	
					知	感性や想像力を働かせて表現の構想を練る。	○	○	○	○		
	2			思	素材の特徴を理解し効果的な表現をする。	○	○	○	○			
		☆ 言語活動	作品のよさや美しさを発表し交流する。見方や感じ方を広げて鑑賞する。					○			○	
3	文様、飾りの小宇宙	身近な生活の中で使われる文様について味わい、おもしろさや美しさを感じる。 モチーフや構成のしかたや、用途を考え、自分のアイデアを発展させ、応用した文様を作る。	6	主	文様や飾りに関心を持つ。		○			○		
				知	形や色の組み合わせなどを工夫して構想を練る。	○	○	○	○			
				思	使う目的や意図、場所などを考えてあらわす。	○	○	○	○			
	☆ 言語活動	作品のよさや美しさを発表し交流する。見方や感じ方を広げて鑑賞する。					○			○		
総時数				45								